

## 県管理河川に係る水質事故について

### 1) 水質事故の発生件数について

県管理河川及びその周辺における水質事故発生件数は、平成19年度以降、減少傾向にあったが、平成22年度は50件と、前年度と比較して7件（16%）増加した。

### 2) 水質事故の発生原因について

平成22年度は、原因が不明であるものが最も多く18件、次いで原因者の不注意によるものが15件、老朽化や整備不良など施設等の不備によるものが14件と続いており、「施設の不備」、「原因者の不注意」によるものが全体の半数以上を占めている。

また、原因者を特定できた32件の内訳は、法人等が17件、個人が15件であり、原因物質ではそのほとんどが油類であった。

平成18年度～平成22年度 原因別発生件数

原因	H18	H19	H20	H21	H22
原因者の不注意	16 (27%)	10 (20%)	11 (26%)	7 (16%)	15 (30%)
施設等の不備	17 (29%)	14 (29%)	10 (23%)	16 (37%)	14 (28%)
交通事故	4 (7%)	3 (6%)	3 (7%)	5 (12%)	3 (6%)
不法投棄	2 (3%)	3 (6%)	2 (5%)	1 (2%)	0 (0%)
不明	20 (34%)	19 (39%)	17 (39%)	14 (33%)	18 (36%)
合計	59 (100%)	49 (100%)	43 (100%)	43 (100%)	50 (100%)

